

**FY2018 Skills Evaluation System Promotion Program
Results of questionnaire for Japanese-based enterprises
in Vietnam regarding the demand of skilled workers**

平成 30 年度技能評価システム移転促進事業

技能労働者の需要に関する日系ベトナム企業へのアンケートとりまとめ

**Secretariat of SESPP, JTB Corp.
株式会社 J T B SESPP 事務局**

**March, 2019
2019 年 3 月**

1. Background

1. はじめに

技能評価システム移転促進事業は、2002年以降、労働・傷病兵・社会省 職業教育訓練局と連携して日本の技能検定制度をベトナムで試験運用して紹介するとともに、ベトナムの職業訓練機関等が自ら技能検定を実施できるよう、技能検定委員の育成や試験問題の作成支援等を継続的に実施してきた。

その結果、機械加工、機械検査、シーケンス制御、情報配線施工などの職種・作業で日本方式の技能検定を安定的に運営できる人材が育ち、技能評価センターが整備された。それとともに、使用するベトナム語試験問題の質も向上し、2018年6月には、日本の旋盤作業、フライス盤作業の試験基準等が翻訳されて国家職業技能基準に採用され、日本方式の技能検定が実施されるに至った。

このように、ベトナムの国家検定は整備されてきたが、ベトナムの国家技能検定が、日本の技能検定のように一般からも認知され、多くの受検者を得て、産業界から積極的に活用されるというこの事業の最終的な目標にも留意したい。ドイツのマイスター制度などとは異なり、技能検定に合格しなくとも該当する仕事を行うことは可能であり、受検は任意であることから、技能検定は客観的で信頼性の高い技能評価制度であることに加え、多くのベトナム国民、企業にとって身近で使いやすいものであることが求められる。

このため、産業界の意見を少しでも聴くこととし、ベトナム日本商工会議所工業部会及びホーチミン日本商工会議所製造業6地域別部会を通じて、その会員企業にアンケート調査への協力をお願いした。

年末の多忙な時期にもかかわらず、ご協力いただいた日系企業のみなさまに深く感謝申し上げるとともに、いただいたご意見は、ベトナム政府、職業訓練機関などとも共有して、ベトナムの国家技能検定制度をよりよくするために活用させていただくことをお伝えしたい。

2019年3月
厚生労働省海外協力室

2. Status of Skills Evaluation System Promotion Program in Vietnam

2. ベトナムにおける技能評価システム移転促進事業の実施状況

日本では、国の技能検定制度により、製造業、建設業及びサービス業にわたる 128 職種に対する実技試験、学科試験が実施され、合格者は技能士と名乗ることにより、その技能が社会から高く評価される。

企業内での技能者育成や、技能者の採用においても、技能検定 2 級、あるいはその上の技能検定 1 級に合格することを一つの指標としているところが多くある。労働者数の多い大規模な企業では、社内で職業能力評価基準などを定めて運用しつつ、技能検定の受検により産業界一般でも通用する客観的な技能評価を取り入れ、優秀な技能人材の育成と技能の継承を図っている。また、独自の職業能力評価基準などを作成することが困難な中小企業においても、国の技能検定への受検を通じて、所属する労働者が習得すべき技能を明らかにし、その維持向上を図ることができる。

ベトナムでは、2006 年職業訓練法に基づき国家技能検定が導入され、労働・傷病兵・社会省の職業教育訓練局が順次運用を拡大しているとのことであるが、当初は受検者数が少なく認知度が低く、多くの企業から高い関心を寄せられるには至っていないとのことであった。

技能評価システム移転促進事業では、2002 年以降、同局と連携して日本の技能検定制度をベトナムで試験運用して紹介するとともに、ベトナムの職業訓練機関等が自ら技能検定を実施できるよう、技能検定委員の育成や試験問題の作成支援等を継続的に実施してきた。これまでに協力した職種・作業は、機械関係、電気関係など 2 職種 3 作業に及ぶ。

ベトナムにおける技能検定トライアルなどの現地活動は、職業教育訓練局との連携の下、各職種の知見を有する職業訓練機関において実施してきた。その結果、工業省のハノイ工業大学 HaUI では、旋盤、フライス盤、機械検査など、人民委員会のハノイ工業技術短大 HIVC では、旋盤といった評価者としての人材が多く育成され、質の高い技能検定の運営ができるようになっている。

旋盤とフライス盤については、既に国家技能検定としての制度や予算が整備され、試験問題も整備されたことから、技能評価センターとして登録された HaUI や HIVC により技能検定試験が始められている。外資系企業などを中心に、技能検定試験への受検希望は多いが、試験に使用する機材等の制約により、一度に受検できる人数は限られている。

今後、機械検査やシーケンス制御などの職種・作業においても、順次試験問題が整備され、国の試験基準に追加されることにより、日本式の技能検定職種が拡大することが期待されている。

3. Summary

3. 調査結果の概要

The Skills Evaluation System Promotion Program, as well as technical cooperation of Japan to training institutes in Vietnam have been implemented in response to the growing industrial needs. Under recent changes such as automated systems introduced in factories and increasing number of engineers which requires more skilled workers, the opinions of Japanese-based enterprises in Vietnam were collected by a questionnaire.

With the support of The Japanese Chamber of Commerce and Industry in Vietnam (JCCI) and The Japanese Chamber of Commerce and Industry in Ho Chi Minh City (JCCH), a questionnaire was sent to their 764 member enterprises on manufacturing. The answers of the enterprises with

100 and more workers were collected through a web site for analysis.

Among 32 valid answers, 60% of the enterprises are facing lack of skilled workers or not satisfied with the skill level of the workers. In molding manufacturing, some enterprises pointed out the lack of flexibility in skills of their workers.

The 60% of the 32 enterprises have no knowledge on skills evaluation system such as National Skill Test of Vietnam and skills completions.

The enterprises are interested in various kinds of training schemes such as in-company training (20 answers), skills test in the company (13), sending the workers to the National Skills Test (11) and recruiting Technical Intern Trainees of Japan (9). For actual introduced schemes include in-company training (27) and developing skills test in the company (8).

The answered 32 enterprises are interested in the skill test on Sequential Control (9), followed by Manual Lethe (9), Mechanical Inspection (8) and Manual Milling (6). They tend to request the skill test during April-December.

増加するベトナムの産業ニーズを背景として、日本政府によるベトナム職業訓練機関への技術支援や、日本の技能評価システムを移転する取組が行われてきた。工場での自動化推進や、エンジニアの増加など、技能労働者を必要とするような最近の変化を踏まえ、ベトナムの日系企業に対するアンケートを行い、意見を集約することとした。

ベトナム日本商工会議所工業部会及びホーチミン日本商工会議所製造業6地域別部会に対して協力を要請し、その会員企業計764社に対してウェブサイトによるアンケートを依頼した。

32社の有効回答のうち、60%が技能労働者の不足や技能レベルが低いことに直面していることがわかった。金型加工の分野などで技能労働者の幅が狭いとの意見もあった。

32社のうち60%がベトナム国家技能検定や技能競技大会などの技能評価を全く知らないと回答している。

企業が関心を持っている技能者育成の取組として、企業内訓練(20社)、社内検定の構築(13社)、国家技能検定の受検(11社)、日本での技能実習(9社)などがある。企業が実際に行っている技能者育成の取組としては、企業内訓練(27社)、社内検定の構築(8社)である。

回答のあった32社が関心のある技能検定職種としては、シーケンス制御(9社)、普通旋盤(9社)、機械検査(8社)、フライス盤(6社)である。受検希望時期は、4-12月の傾向である。

4. Reason and purpose

4. 調査の趣旨、目的

ベトナムにおいて、急速な工業化の進展を背景として、政府機関及び民間企業から産業人材育成の要望が出されていたことから、日本政府によるベトナム職業訓練機関の能力向上¹⁾や技能評価システムの移転の取組が継続的に行われてきた。工場では作業の自動化が進められ、高等教育によるエンジニアなど技術者の育成も進む中で、日系ベトナム企業の協力を得て、現場の実態をあらためて聴取することとしたものである。

5. Method, period, etc.

5. 調査方法、期間等

厚生労働省から、ベトナム日本商工会議所工業部会及びホーチミン日本商工会議所製造業6地域別部会に対して協力を要請し、その会員企業計764社に対してEmailでアンケートを依頼した。各会員企業から、WEBサイトにアクセスして回答を選択、記入して送信する方法により、本事業の委託先で回答を回収、分析した。

調査の対象は、プレス、樹脂成形、金属製造、機械加工、板金、製缶、鋳造、表面処理、熱処理、電子部品・電気制御、生産材、プラント部品、建築部品、治工具業などの加工を伴う業務を主として行うとして、いずれかの日本商工会議所に登録している日系企業のうち、従業員を常時100人以上雇用するところとした。

調査期間は、2018年12月10日から12月21日までとした。

調査項目及び内容は、別添のとおり。

6. Results

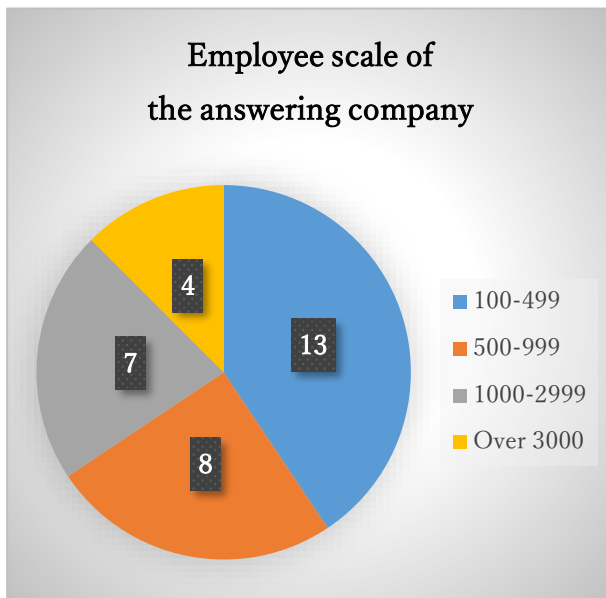
6. 調査結果

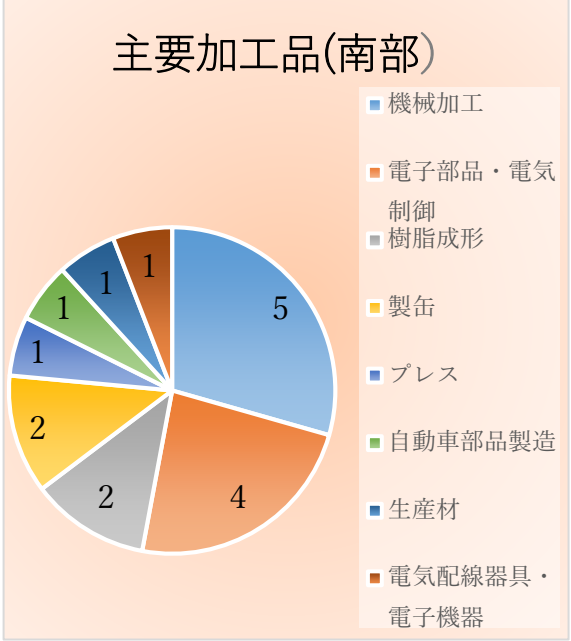
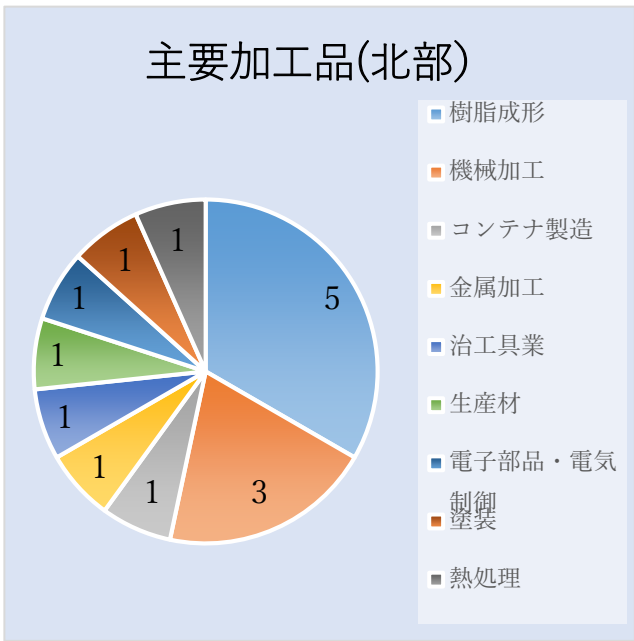
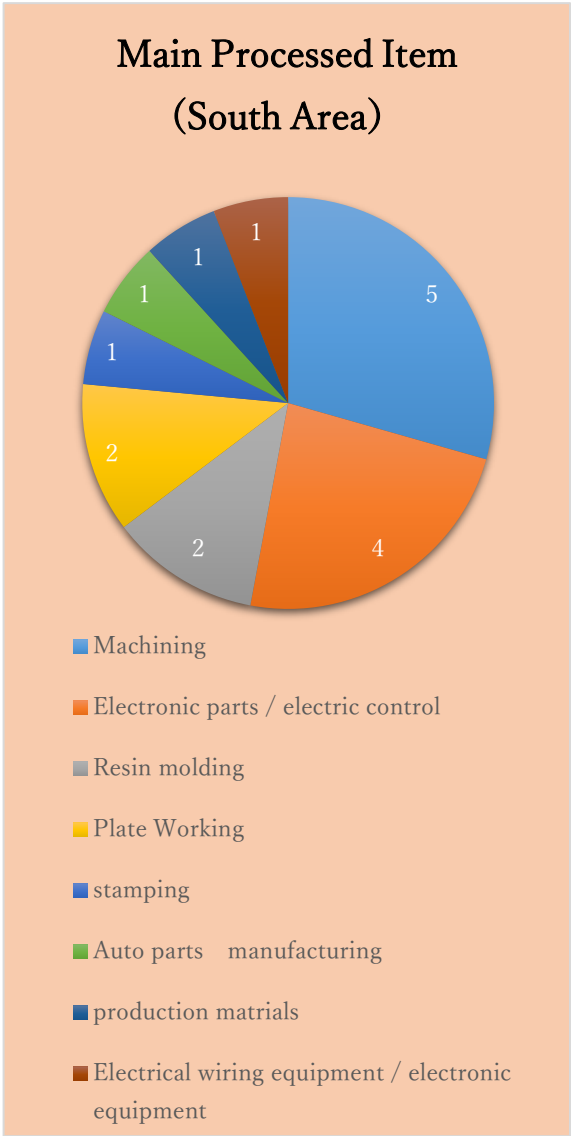
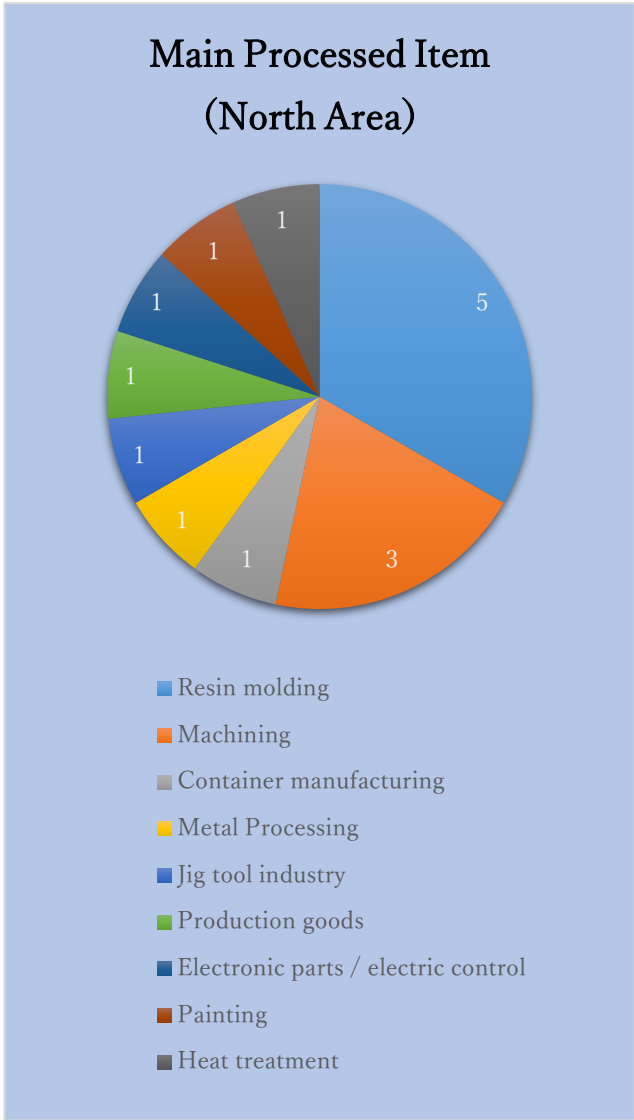
(1) Number of respondents and feature of the company

(1) 回答数と回答企業の特徴

全体の9.5%である41社から回答があり、前述の調査の対象からはずれる従業員99人以下の企業を除く32社を有効回答として、以下の分析を行った。

従業員規模、主要加工品による企業の属性を分類すると、それぞれ次のようになった。従業員数100-999人の企業が3分の2を占めるが、3,000人以上の企業も多い。





(2) Recruitment of skilled workers

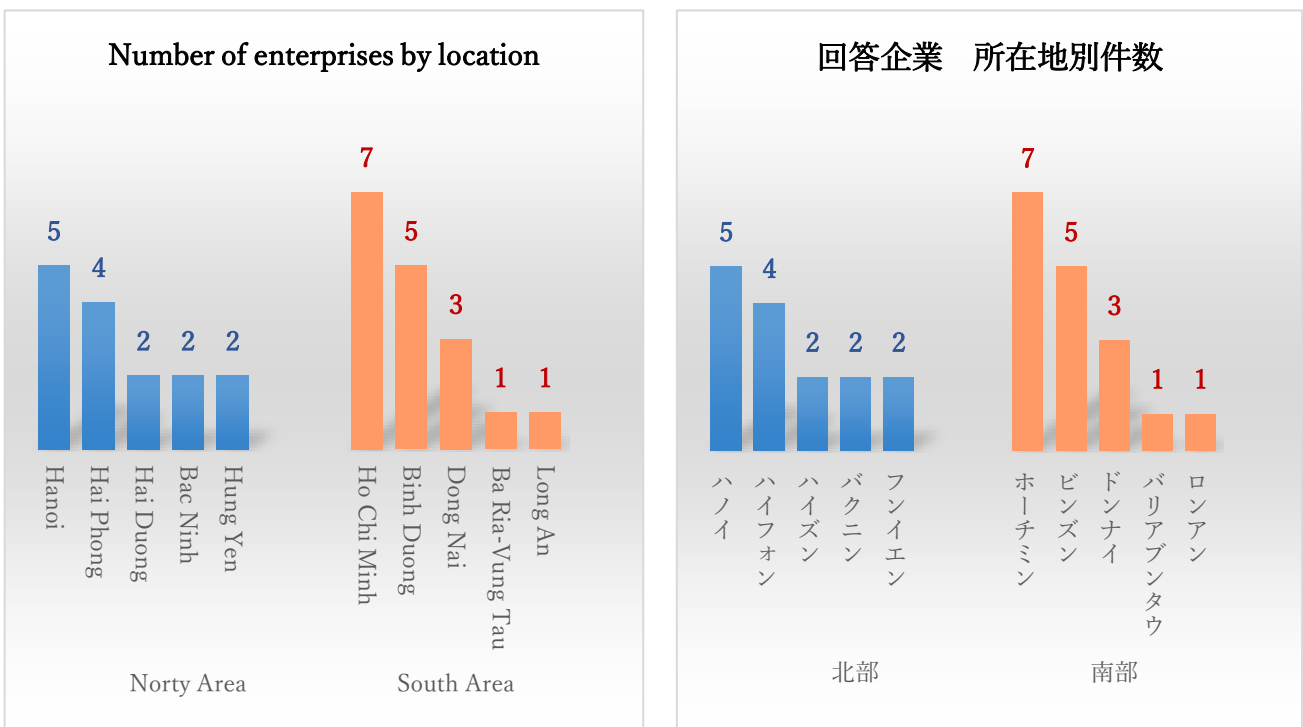
(2) 技能労働者の確保

回答のあった 32 社のうち約 60%が、労働者の確保上で困っていることとして、技能労働者の不足又は技能水準が低いことを挙げており、大多数の企業が、おそらくは日本での状況と比較して、技能労働者の確保に苦労していることがうかがえる。これらの回答に関連する職種としては、樹脂成形関連、機械加工関連、金型関連などが多く見られた。

また、技能の幅が狭いと回答は金型関連で、技能水準が不明との回答は機械加工関係で複数あった。金型関連では、大きさ、用途、要求される精度など多くの異なる技能が要求されること、機械加工関係では、雇って業務を行わせるまでは、技能レベルや種類を事前に客観的に把握することが困難な状況が推測される。これらは、企業にとって必要な技能をもつ労働者を雇いにくいという状況であるとともに、労働者にとっては、もっている技能を活用しにくい状況があることでもある。

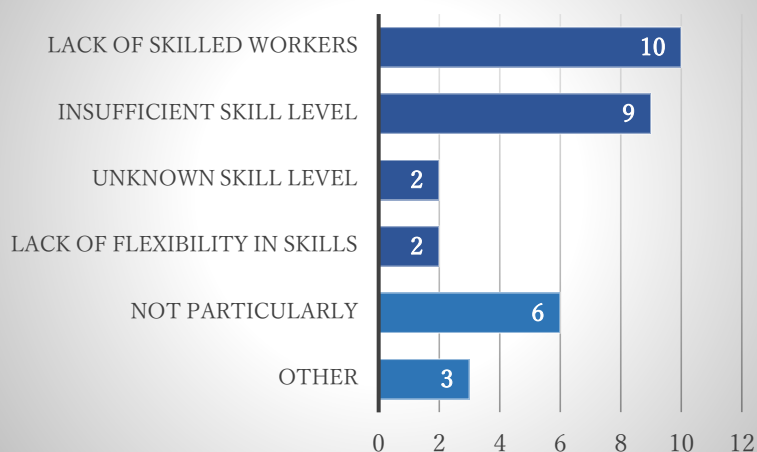
一方、特にないと回答した 6 社は、関連する職種の記載がないものが多く、特定の職種での特徴を判別するには至らなかった。

回答企業の地域としては、北部と南部がほぼ同数含まれている。南部がホーチミン市の近隣地域が多いのに対し、北部はハイフォン、ハイズンなど比較的広範な地域にわたる。

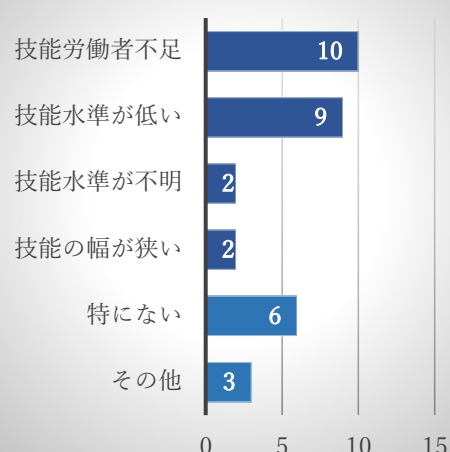


主要加工品による分類では、機械加工や樹脂成形、電子部品・電気制御に関する加工品を製造する企業が多い。これを地域別に見ると、北部では樹脂成形と機械加工で半数を、南部では機械加工と電子部品・電子制御で半数を占めている状況であり、これらは以下の回答内容に影響を与えていると考えられる。

Issues to recruitment of skilled workers



技能労働者確保の課題



Issue	Number of People	Job-trades
Lack of skilled workers	10	Stamping/Machining, Casting, Resin molding, Molding design, Welding, Electricity, Machining, Machine assembly, Metal processig, Production engineering, Design
Insufficient skill level	9	Design, Production design, Mold design, Casting, Processing, Coating, NC Turning, Production engineering, Heat treatment, Polishing, Resin molding, Mold and Die
Unknown skill level	2	Machining
Lack of flexibility in skills	2	Molding technology, Stamping, Equip maintenance

困っている事項	人数	困っている事項にあたる職種
技能労働者が不足している	10	プレス・機械加工、鋳造、樹脂成形、成形金型、溶接、電気、機械加工、機械組立て、金属加工、生産技術、設計
技能水準が低い	9	成形、製品設計、金型設計、鋳造、加工、塗装、NC旋盤、生産技術、熱処理、研磨、樹脂成形、金型関係
技能水準が不明	2	機械加工
技能の幅が狭い	2	成形技術、金型・設備安全

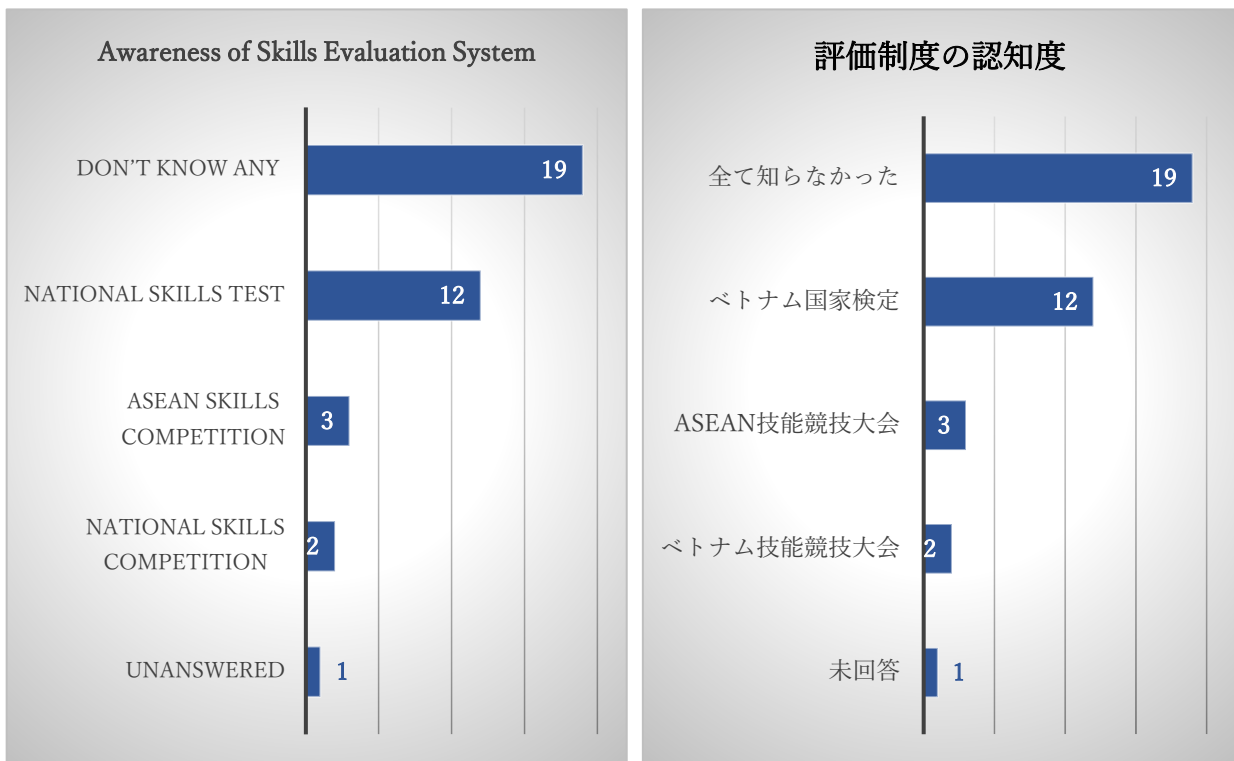
(3) Skills Evaluation System in Vietnam

(3) ベトナムにおける技能評価のしくみ

回答のあった32社のうち約60%が、ベトナムでの国家検定や、技能競技大会、ASEAN技能競技大会についてまったく知らなかったと答えている。ベトナム国家検定について知っていると答えた企業は37%となっており、関係業界に対しては、一定の周知がなされているといえる。

現在までのところ、ベトナムの国家技能検定は、一度に対応できる受検者数が限られるなどの事情で、試験情報の周知が、関係業界に限定的に行われていることとも関係するが、合格者が技能を高く評価されて賃金や昇格など処遇面での改善につながるためには、国家技能検定制度がベトナムの社会に広く認知される必要がある。

技能競技大会もまた技能評価の1つであり、国や世界レベルで若手トップレベルの選手が競い、その技能が評価されることを通じて、技能者のレベルや層の厚さが測られる。ASEAN技能競技大会は、周辺国も含めて2年ごとに国際的な競技が行われており、各国において日系企業が占める技能レベルを考えると、積極的な参加が期待される。



(Multiple answer / 複数回答)

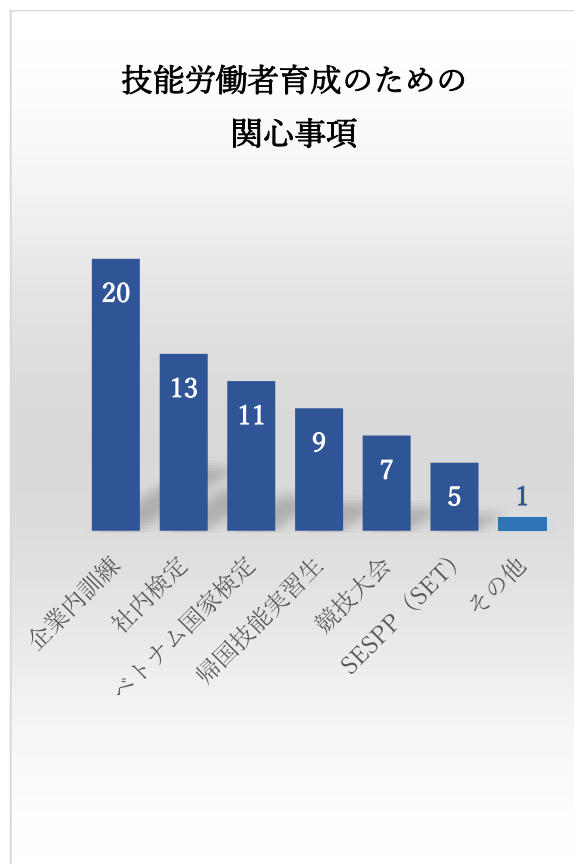
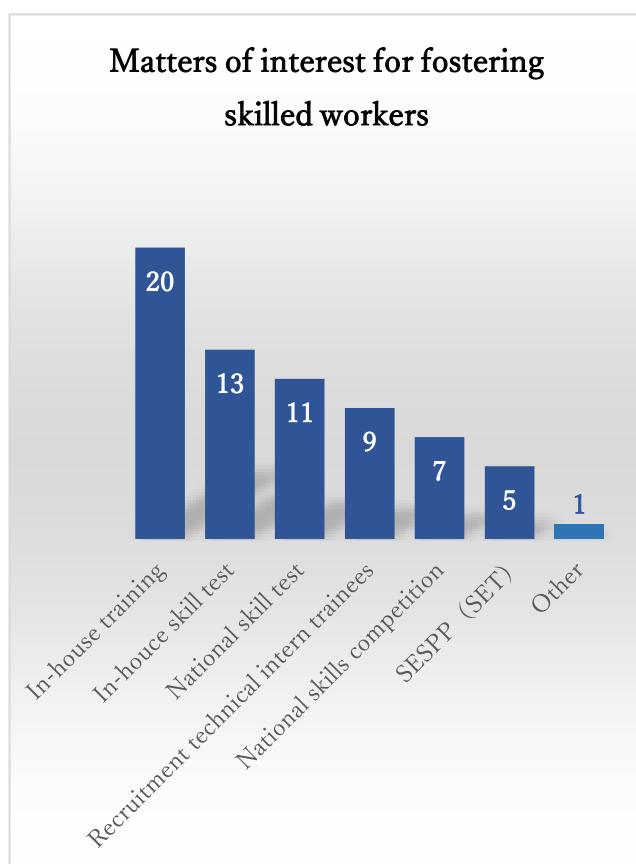
(4) Efforts on development of skilled workers in companies

(4) 企業における技能者育成の取組

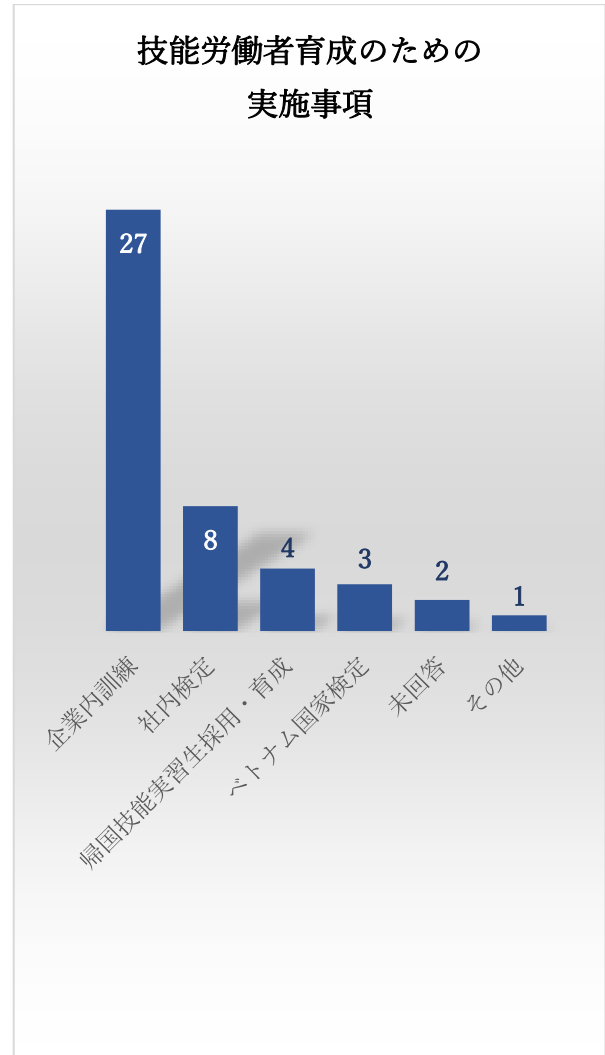
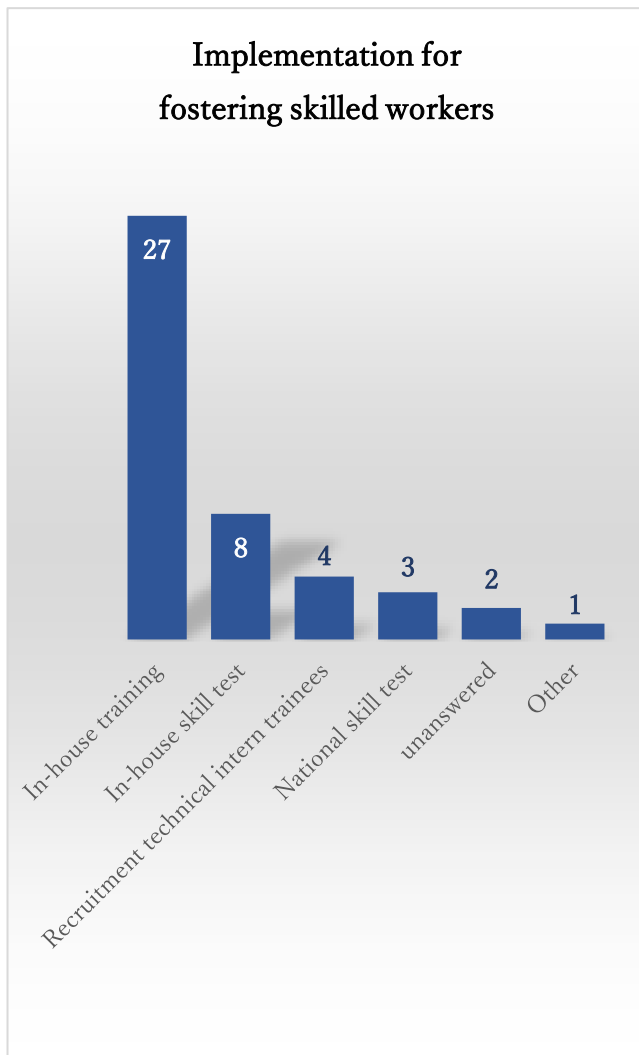
技能労働者育成のために企業が関心を持っている事項としては、企業内訓練の実施が20社と最も多く、社内検定の構築13社、ベトナム国家検定の受検11社、帰国技能実習生の採用・育成9社などと続いている。また、技能労働者育成のために既に実施している事項としては、企業内訓練の実施が27社と最も多く、社内検定の構築8社となっている。

ベトナムでは、基本的に企業内訓練や社内検定など、各企業における取組を重視していることがわかる。日本においては、特に回答企業の多かった機械加工、樹脂成形、電子部品・電気制御の分野では、人材育成のうち基本的な技能を技能検定と企業内訓練とで確保しつつ、企業独自の技能を更なる企業内訓練や社内検定で補っている事例が多くみられるが、ベトナムにおいては、国家技能検定が整備途上にあるため、これらをすべて企業内で対応していることがうかがえる。

技能検定を活用して労働者を評価することは、企業内で技能を客観的に評価できるという点で有効である一方、企業外においてもその技能を評価できることでもあり、今後、有能な人材が流出することへの懸念が出てくることも想定される。



(Multiple answer / 複数回答)



(Multiple answer / 複数回答)

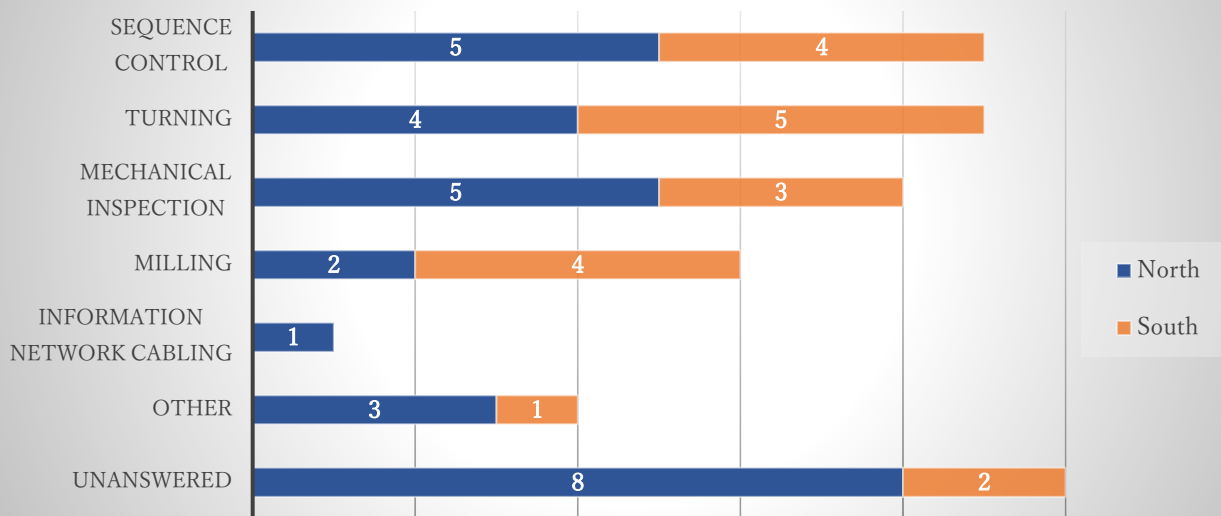
(5) Job categories of skills test with high-interest

(5) 技能検定における関心職種

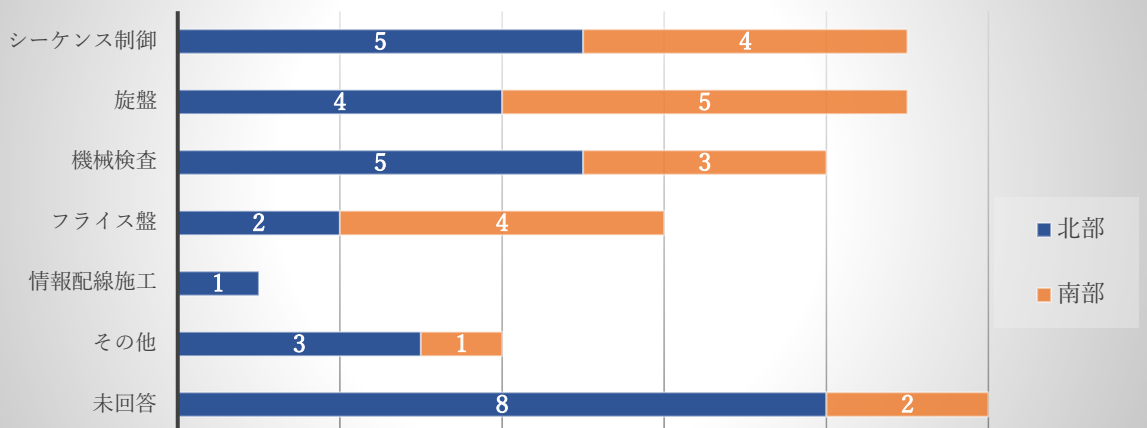
ベトナム国家技能検定又は厚生労働省事業による技能検定トライアルを実施する場合、希望する職種について尋ねたところ、シーケンス制御 9 社、旋盤 9 社、機械検査 8 社、フライス盤 6 社などとなった。現在実施している技能検定の職種に対して一定の関心と需要があることがわかる。このうち、国家技能検定に導入された職種は旋盤、フライス盤であり、シーケンス制御、機械検査についても、国家技能検定の導入に向けて、あるいは技能検定トライアルの受検者数増加に向けて準備を行う必要がある。

ただし、これらの結果が、それ以外の職種に対して関心がないことを意味するわけではないことに留意する必要がある。回答企業から、その他の職種として寄せられた意見としては、樹脂成形、成形、鋳造、溶接がある。

Preferred job categories to implement



SET希望職種

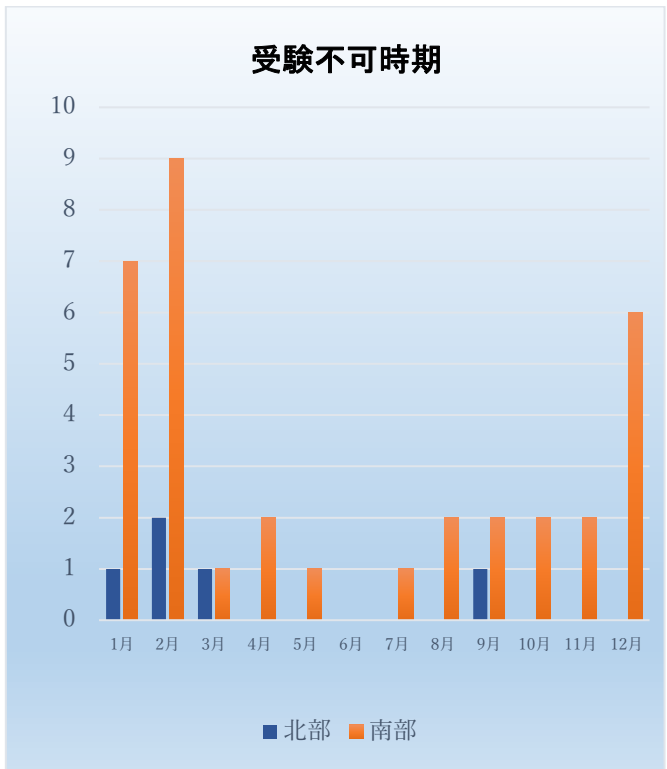
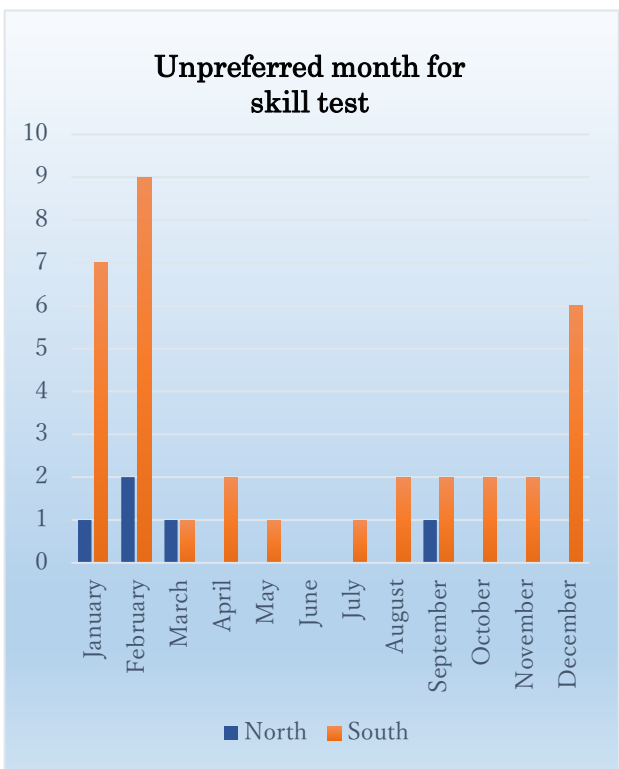
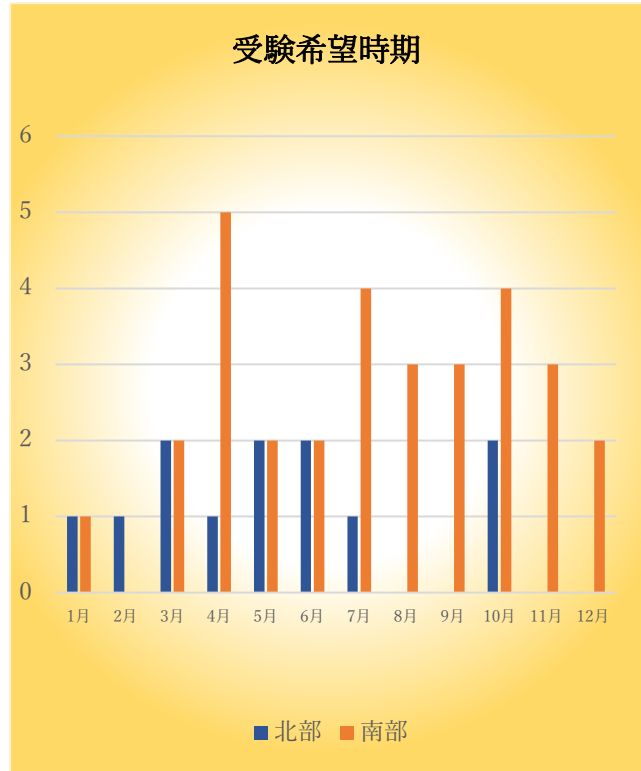
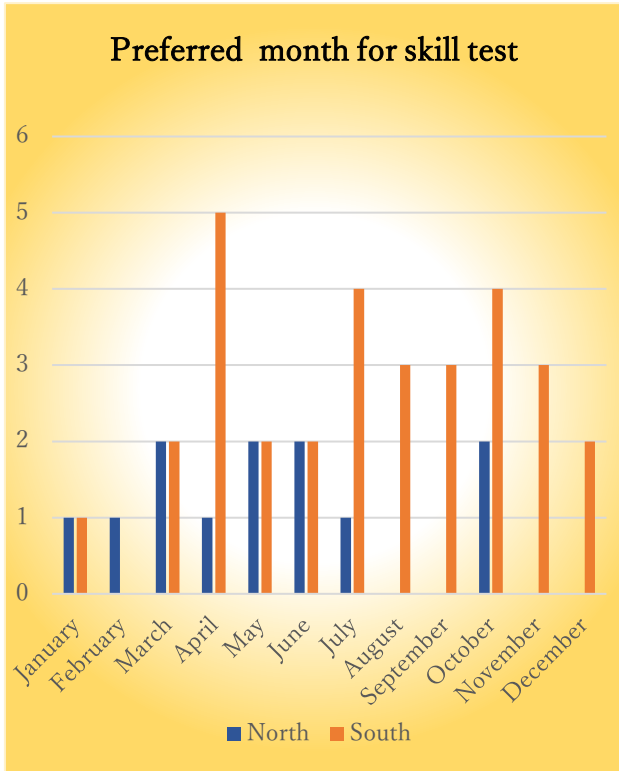


(Multiple answer / 複数回答)

(6) Preferred months to take skills test

(6) 技能検定試験の受検希望時期

技能検定試験の受検は、企業の繁忙期や労働者の技能の習得時期との関連でいつでもよいとは限らない。受験希望時期と受検できない時期を尋ねたところ、次のグラフのようになった。12-2月は受検できないとする企業が多いこと、4-12月に受検を希望する企業が散在することに配慮する必要がある。今回、対象職種との関連は分析できなかった。



(Multiple answer / 複数回答)

(7) Other Opinions

(7) その他意見

- ・ 国家技能検定試験

自社では実務に役立たない／検定合格を評価してよいのか不明／合格者の他社への流出が心配／客観評価で報酬反映に活用したい

- ・ 技能者の不足

設備を用意しても技能人材がいなく深刻／日本の人材受入れで技能者不足が加速化のおそれ／帰国実習生では対応できなかった

- ・ 技能が低すぎる

技能向上が必要なので指導してほしい／社内教育でついていけない

7. Opinion

7. 所見

- (1) 本調査は、協力を得やすい日系企業団体を通じて、一定規模以上の労働者を雇用する企業からの意見を集めたものであり、必ずしもベトナムの産業全体をバランスよく反映しているわけではない。また、限られた期間で得られた 32 社の回答であり、集計結果には、自社の人材育成や人材育成施策に関心が高い企業からの意見が多く反映されていること、技能人材を特に必要とする加工品を取り扱っている企業からの意見が多いことなど、バイアスがあることに留意する必要がある。したがって、企業からの回答割合よりも、それぞれの意見の内容に着目して取り上げることが妥当である。
- (2) 技能者の不足や低い技能水準など、技能労働者の確保に苦労しているとの意見が多く得られた。人手不足で労働者の採用ができないということだけでなく、特定の技能を必要とする業務に見合った人材の確保が困難ということであり、学歴や他社での業務歴などだけでは、技能の客観的な評価に結びつかないとのことである。また、即戦力となる技能者を必要とする背景には、工業化が急速に進展して技能人材の育成が需要に追いつかないことがあると考えられ、新たに参入した外資系企業などへの技能人材の転職を心配する企業が多いこともうなずける。なお、外国人技能実習制度に基づく日本での技能実習や、改正入管法に基づく技能人材の日本での労働について、ベトナムの技能人材の不足が加速化することを懸念する意見もあり、製造業分野においては、これら技能人材が近い関係にあるとも考えられる。
- (3) 企業における人材育成策として、企業内訓練を実施しているとする企業が圧倒的に多い一方で、関心事項としては、企業内訓練だけでなく、社内検定試験の構築や国家技能検定の受検など技能評価への関心の高さが目立ったことは、必ずしも現在実施している企業内訓練が十分あるいは最適とは考えていないことを示唆している。今回の調査では、社内検定の構築に関心があると回答した企業が、企業独自の技能を必要とするためであるのか、それとも国家技能検定が十分に定着していないために企業自らが構築すべきと考えているのかは確認できなかった。各企業が独自の技術を追求する以上、企業ごとの独自訓練は必要であるとしても、共通する技能の習得による即戦力となる技能者の育成は、国家技能検定などの公的な技能評価制度の充実が期待される。

- (4) ベトナムにおける技能評価として、国家技能検定の認知度が低いことは、ベトナムの国家技能検定や、日本が行っている支援事業にとって大きな課題である。技能検定の合格者がその技能を正しく評価されて相応の処遇を受けること、ひいては高い技能をもつ労働者を活用し企業が生産性を向上させることにつながるよう、国家技能検定の質の確保と周知広報を進める必要がある。
- (5) 技能評価制度における周知広報は、ベトナム語による技能検定のお知らせをすることはもちろんであるが、より多くの合格者を出して産業界で活躍させることもまた重要である。シーケンス制御のように自動化したラインをもつ工場で需要が高い技能、機械検査のように加工現場から見た計測・品質管理のような基本技能についても、早期の国家技能検定への導入が望まれる。なお、機械検査職種の技能検定は、実技試験において大掛かりな機材や高価な消耗品を必要としないことから、一度に多くの受検者を受け付けることが可能であり、より多くの合格者を出すことにもつながると思われる。

(アンケート内容)

技能労働者に関するアンケート調査について

現在、ベトナムにおいて、平成 30 年度技能評価システム移転促進事業が実施されており、今般、厚生労働省より、アンケート調査について協力依頼がありました。

以下に該当する企業におかれましては、貴社における技能労働者の確保状況などに関して、アンケートにご協力をお願いします。

(アンケート対象企業)

- ・原則、従業員規模 100 人以上
- ・製造業で主に次の加工を営む企業（プレス, 樹脂成形, 金型製造, 機械加工, 板金, 製缶, 鋳造, 表面処理, 熱処理, 電子部品・電気制御, 生産材, プラント部品, 建築部品, 治工具業）

(ご回答期限：12 月 21 日（金）までをお願い致します。)

Q 1 従業員規模

0~100 人未満, 100 人以上~500 人未満, 500 人以上~1000 人未満,
1000 人以上~3,000 人未満, 3,000 人以上

Q 2 主要加工品（主なもの一つを選択）

プレス, 樹脂成形, 金型製造, 機械加工, 板金, 製缶, 鋳造, 表面処理, 熱処理,
電子部品・電気制御, 生産材, プラント部品, 建築部品, 治工具業, その他()

Q 3 所在地域

ハイ市, ホーチン市, タトアン・リンチェン工業団地, ビンズオン市, ドンナイ市, ロンアン市,
ハリアブンの市, その他()

Q 4 社名 ()

Q 5 技能労働者の確保について、最も困っている点を 1 つ選択してください。

※複数該当がある場合でも、最も困っている点を選択してください。

技能労働者が不足している, 技能水準が低い, 技能の幅が狭い,
技能水準が不明, 特にない, その他(具体的に)

Q 6 Q 5 の技能労働者の職種は何ですか？

Q 7 ベトナムにおける技能評価制度で知っているものを選択してください
※複数選択可

ベトナム国家検定, ベトナム技能競技大会, ASEAN 技能競技大会,
ASEAN 資格参照枠組 (AQRF), SESPP (厚生労働省) による技能評価トライアル,
全て知らなかった

Q 8 技能労働者の技能評価をどのように行っていますか。
※最もウエイトを置いている評価方法を一つ選択してください。

職長等による評定, 外部機関による証明書, 社内検定, 事務職と同じ,
何もしていない、できていない, その他 ()

Q 9 技能労働者育成のため、関心を持っている事項を選択してください
※複数選択可

(内部人材の育成) ベトナム国家検定の受検,
(内部人材の育成) ベトナムにおける競技大会参加,
(内部人材の育成) SESPP (厚労省事業) による技能検定トライアルの受検,
(内部人材の育成) 社内検定の構築,
(内部人材の育成) 企業内訓練の実施,
(外部人材の育成) 帰国技能実習生の採用、育成,
その他 (具体的に)

Q 10 技能労働者育成のため、既に行っている事項を選択してください
※複数選択可

(内部人材の育成) ベトナム国家検定の受検,
(内部人材の育成) ベトナムにおける競技大会参加,
(内部人材の育成) SESPP (厚労省事業) による技能検定トライアルの受検,
(内部人材の育成) 社内検定の構築,
(内部人材の育成) 企業内訓練の実施,
(外部人材の育成) 帰国技能実習生の採用、育成,
その他 (具体的に)

Q11 Q9及びQ10において「ベトナム国家検定の受検」、「SESPP（厚労省事業）による技能検定トライアルの受検」を選択した場合、希望する職種及び今後とも実施させたい職種をお答えください。
※複数選択可

旋盤, フライス盤, シーケンス制御, 機械検査, 情報配線施工, その他 ()

Q12 Q9及びQ10において「ベトナム国家検定の受検」、「SESPP（厚労省事業）による技能検定トライアルの受検」を選択した場合、受検希望時期をお答えください。
※複数選択可

1月, 2月, 3月, 4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月, 10月, 11月, 12月

Q13 Q9及びQ10において「ベトナム国家検定の受検」、「SESPP（厚労省事業）による技能検定トライアルの受検」を選択した場合、受検不可の時期をお答えください。
※複数選択可

1月, 2月, 3月, 4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月, 10月, 11月, 12月

Q14 最後にご意見、ご要望等ありましたら、ご記載ください。
※自由記載

以上